

# 山梨県歯科医師連盟 連盟ニュース

第 21 号

発行  
山梨県歯科医師連盟  
山梨県甲府市大手1-4-1  
TEL055-252-6481  
発行人 内藤敏雄  
編集人 守屋直木

山梨県歯科医師連盟機関紙

## 溢れる熱気!! 勝利を誓う

### 「西村まさみ氏を励ます会」開催される

平成22年5月29日(土)、西村まさみ山梨県後援会主催「西村まさみ氏を励ます会」がアピオ甲府にて行われた。当日は荒天にも関わらず200名近くの方々が駆けつけ、西村先生の話に聞き入り勝利に向けて氣勢を上げた。

後援会事務局長の一瀬秀文先生の司会のもと、大きな拍手に迎えられ、西村まさみ先生が入場され、開式した。開会を内藤敏雄後援会副代表が「西村まさみ先生を我々の代弁者として国会へ送ることが歯科界の未来へつながる。明るい未来のために西村先生を当選させなければならぬ」と力強く挨拶された。

続いて後援会代表・三塚憲二先生が「国民の歯科医療を守る、会員の生活基盤の安定のためには政権政党と議論しなければならぬ。そのためには西村まさみ先生の支援の輪を拡げて7人目の歯科医師を歯科医師党という認識で国政の場へ送らなければならない」と挨拶された。

その後、当初予定にはなかったが小沢鋭仁環境大臣が激励に駆けつけて下

さった。小沢大臣は「今の時代は何党かよりも、いま最も時代に必要なる人、皆さんの代表を選んで頂くことが大事だし、それには西村まさみ先生こそがその人である」と話された。

続いて来賓として、西村まさみ中央後援会副代表並びに日本歯科医師連盟副会長・蒲生洵先生よりご挨拶を頂いた。蒲生先生からは、当日会場一杯に来場された方々への御礼と西村まさみ先生の略歴、また具体的な選挙制度や期日前投票などについて分かりやすくご説明頂いた。

続いて来賓の紹介。山梨県歯科技工士連盟理事長・千野秀一様、山梨県歯科衛生士連盟会長・山本妙子様、山梨県歯科用品組合組合長並びに株式会社ミヤウチ代表取締役社長・宮内啓文様代理、岩間仙平様、ササキ株式会社

甲府支店支店長・向山寿雄様に、ご多忙にも関わらずご臨席を賜った。

会場も次第に熱気高まる中、西村まさみ先生がマイクを握られ、会場の先生方をはじめ皆が我々の代弁者の挨拶に注目した。

まず、会場を埋め尽くした方々への御礼が述べられ、立候補に至る経緯、いま歯科界に何が足りないのか、何を变えなければいけないのか、その決意を述べられた。

昨年8月、衆議院選挙の時は一国民としてテレビを見ていた。政権交代が起こり、これで日本が、子供達が安全で安心して暮らせる世の中になれば良いなと心から思った。

9月に入り、民主党の国会議員で歯科医師の先生から電話があり「現場の声を国政で出してみませんか。来年の参議院選挙に出ませんか」と言われた。10年程前、東京都議会選挙に出たことがある。残念ながらその時は当選出来なかったが、その時手伝わったスタッフが中からは、区議会議員から国会議員まで出た。政治家になつた彼らに「歯科医療は国民の健康に大きく影響していること」を話した。また地元選出の長妻厚生労働大臣とも度々接する機会があり、そのような経緯から歯科医師の現場の声を聞かせてほしいということになったと思う。

平成8年に開業して診療をしながら各種健診、訪問診療など、地域医療のため一生懸命やってきた。立候補要請があったが一度は断った。しかし桜井議員、大久保議員から何度もお誘い

を受けた。悩みに悩んだが、レセプトオンライン化の問題・2200億削減の問題・税制の問題、2.09%アップを聞いた時、一歯科医師として政権与党の中でしっかりと声を出すことが国民にとって大事なことで、そのお手伝いが出来ればと今年になって決意した。

民主党200名の公募の中から3名の歯科医師が残り、書類選考・面接を経て3月3日に公認を頂いた。日本歯科医師連盟からはいち早く支援、日本歯科技工士連盟・日本歯科衛生士連盟からも推薦を頂いた。歯科医療関係者からの応援に責任の重さを感じ決意を新たにした。

3月15日から日本全国を回り、会員の先生方、スタッフの皆さんの声を聞いた。2.09%確かにありがたい。しかし、まだまだ歯科に対して適正な評価を頂いているとは思わない。2年後の診療報酬改定と同時に進む介護保険の改定。その時こそ、歯科医療関係の各種団体が役割を明確にし、その中に位置付けていかなければならない。その他にも文書提供、施設基準、補管、指導、監査など、全国の先生から沢山の声をお聞きした。

私は今までの職域代表とは違い一開業医の目線で、いま歯科医療に必要なことは何かを現場の代弁者としてやっていきたいと思う。

歯科医療が国民の健康に係る重要な役割であることを法律の中でも位置付け、患者さんの受診率を上げるためにも負担割合を下げるこ



西村まさみ先生の話に聞き入る会場内

もやっついていかなければならない。  
私の父は歯科医師で父の後ろ姿を見て自分も歯科医師の道を選んだ。今、8歳の娘がいるが、この子らが将来、歯科医療界で働きたいと思えるような未来ある歯科医療界をつくるのが私の大きな目標である。

これからも残る期間、自分の目と耳と足で全国の皆様の意見を聞き、現場の声を国政に反映出来るように、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

その後、これから始まる激しい選挙戦に向けて、激励コール「ガンバロー」

を後援会幹事長の一瀬明先生の指揮のもと声高らかに三唱した。続いて歯科技工士連盟・歯科衛生士連盟を代表して、両会長より花束の贈呈が行われた。

閉会を後援会副代表・依田竹雄先生が「国民の健康な生活を守るためには西村まさみ先生を国政に送らなければならぬ。そのためには支援の輪を更に大きく拡げてほしい」と締めくくられた。

閉会后、西村まさみ先生は出席者一人一人と握手を交わし、勝利に向けて健闘を誓い合った。



壇上から降りて挨拶される西村まさみ先生

「西村まさみ支援者名簿」へのご協力、誠にありがとうございました。

回収は一旦締め切りでしたが、もしお手元に残っている名簿がございましたら、6月22日(火)までに、県歯連盟事務局までご送付下さい。FAXでも構いません。よろしくお願い申し上げます。

# 参議院比例代表選挙の投票の仕方

## 参議院選挙は

### 2回投票します。

## 選挙区選挙

全国47都道府県をそれぞれ選挙区とした選挙

山梨選挙区から出馬している候補者名を投票用紙(黄色)に記入します。

## 比例代表選挙

全国を一つの選挙区とした選挙

支持政党もしくは支持する候補者名を投票用紙(白色)に記入します。

## キーポイント

2001年の参院選から導入された「非拘束名簿比例代表制」。各政党が提出した名簿順ではなく、個人名の投票が多い順に当選が決まります。

ですので、ここで候補者個人名を投票することにより、その個人を国政に送り出すことができます!

## 期日前投票を 活用しましょう。

これまでの「不在者投票」と違って手続きが極めて簡単。二重封筒に入れる作業もなく、普通の投票と同様、直接投票箱に投票します。

### 投票期間

公示翌日から投票日前日まで

### 投票時間

基本的に、午前8時30分～午後8時まで

昼休みや診療後、選挙前の日曜日など、自由な時間に待たずに投票ができて、とても便利です。

ご自分の選挙権のある市町村の選挙管理委員会からハガキが送られてきますので、投票場所をご確認の上、

## 「期日前投票」を、是非ご利用下さい。